

第8回自然再生学会全国大会

福井県里山里海湖研究所では、福井の里山里海湖の魅力を発信し、全国の研究者や活動者を福井に呼び込むとともに、本県の自然再生活動の活性化につなげていく取組みを行っています。

この一環として、福井県と敦賀市が共催で第8回自然再生学会全国大会を開催しました。自然再生学会では様々な視点や立場から自然再生を研究する市民、研究者が集まり、活動報告の発表を行いました。さらに2日目はエクスカーションとして中池見湿地および気比の松原の視察を行いました。

1 日 時：平成29年6月24日（土） 13時15分～17時
25日（日） 9時～12時

2 場 所：24日（土） あいあいプラザ あいあいホール
25日（日） 中池見湿地、気比の松原（エクスカーション）

3 参加者：24日 79名（県内52名、県外27名）
25日 39名（県内14名、県外25名）
※学会員、一般参加者含む

4 （1）主催 自然再生学会
（2）共催 福井県、敦賀市

5 内容

○6月24日（土）

（1）開会あいさつ

敦賀市の中山副市長、自然再生学会の養父会長が開会のあいさつを行った。



(2) 基調講演

／講師：元中池見湿地保全活用計画策定委員会委員長
中部大学 村上哲生 教授

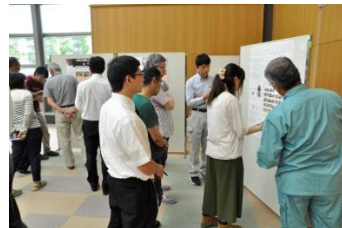
演題：中池見湿地の保全活動

中池見湿地の水質や生き物の特徴について紹介し、中池見湿地に存在する多様な環境を同時に守ることの難しさを説明した。



(3) 活動発表（口頭発表、ポスター発表）

活動者が日頃取り組んでいる自然再生についての活動内容を紹介した。発表後は取組みについて活発な意見交換が行われた。



○6月25日（日）

(1) 中池見湿地視察

NPO法人中池見ネットの上野山氏が中池見湿地の植物や取組みなどを紹介した。その後、参加者は中池見湿地を見学し、現地の方と意見交換を行った。



(2) 気比の松原視察

福井森林管理署の方が気比の松原の植生の特徴とそれを保全するための取組みについて紹介した。紹介後、参加者はその取組みの一つである松葉かき体験を行った。

